

三 学 期	(2) 工場の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ○宝塚市でつくられている食品をさがし、つくられている場所や量を調べ、気づいたことを話し合います。 ○今里食品のめんについて調べる活動を通して単元の学習問題をつくります。 ○今里食品工場を見学し、疑問に思ったことを整理して質問し、気づいたことをまとめます。 ○食品工場の仕事について調べます。 ○調べたことをみんなに伝えるポスターをつくります。
	4. のこしたいもの、 つたえたいもの	<ul style="list-style-type: none"> ○宝塚市に残る古いものを見つけて発表し、くわしく調べたいものを話し合い、学習問題をつくります。 ○古くから残る建物を、見学したり、聞き取りをしたりして調べ、写真やメモに記録します。 ○写真やメモを友達に紹介できるように整理します。 ○昔から続く宝塚市の祭りについて、よく知る人の聞き取りをして調べます。 ○古くから伝わる郷土芸能には、どのようなものがあるか調べます。 ○伝えたいことをメモします。 ○メモをもとにレポートをつくり発表します。 ○これまで調べてわかったことをもとにして、郷土カルタをつくります。 ○つくったカルタから、地域の人の願いがどのように伝わるかを話し合います。

◇指導の工夫

<学び方や調べ方の学習>

- ・一斉に調べ方を学んだ後、個の興味関心に応じた小グループや個人による調べ学習を行うことで、学び方や調べ方を身につけられるようにします。

<実体験に基づく学習指導>

- ・学校のまわりの様子を実際に調査したり、働く人々にインタビューをしたりなど、地域に出かけ自分の目で見て感じ、考える機会をできるだけ多く取り入れることにより、社会的事象に関する理解を深めます。

<プレゼンテーション能力の育成>

- ・調べたことを絵地図や新聞にまとめ、発表する機会を学習のまとめとして行うことで、自分の考えをまとめ発表する力を育てます。

◇評価観点

- ・地域の地理的環境、生産・販売、健康や安全を守るための諸活動（以下、地域の地理的環境等）について興味・関心をもち、意欲的に調べているか。
- ・地域の地理的環境等について学習の問題をみつけ追究し、それぞれの特色について考えてまとめているか。
- ・地域の地理的環境等を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを工夫し発表しているか。
- ・地域の地理的環境等について理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい社会3・4上』（東京書籍）、副読本『わたしたちのまち宝塚』等

◇保護者の皆様へ

- ・3年生の社会科学では、社会科学習への入門期であることを重視し、生活科で体験した気づきや発見を生かし、実際の体験から学ぶ機会を多く持つようにします。個人やグループで実際に歩いて調べたり、見学したり、インタビューをしたりした結果をまとめ、友達に報告する活動を繰り返す中で、自分で学習の問題をみつけ、追究する基礎を養っていきます。
- ・3年生では、地域社会に関する内容のうち、まず、全員で学校の周りの様子や宝塚の様子を学習します。学校のある宝塚の特色を理解するとともに、子ども達には、それぞれの居住地の周りの様子にも興味・関心を持ってほしいと思っています。休みの日にお子さんと一緒に近所を歩いてみると、公園や公共施設、川、交番、マンホールなど、今まで気にもとめなかったことにも目が向くことでしょう。
- ・阪神淡路大震災では、学校のある宝塚も大きな被害を受けました。もし、当時のことをご存知でしたら、是非、話をしてあげてください。

関西学院初等部 4年 社会科シラバス〔保護者用〕

◇4年社会科の目標

- ・地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、主体的に追究する。
- ・地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。
- ・地域社会の一員としての自覚をもつようにするとともに、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

◇4年社会科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	4. 暮らしを守る	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の安全や健康で住みよい暮らしを守るための仕事や工夫・努力についてまとめます。 ・災害や事故から人々の安全を守るための仕事の仕組みを理解します。 ・消防署を見学して、火災に対する備えや消防署の仕事について調べます。 ・見学を通して、発見したこと、気づいたこと、分かったことを話し合い、内容別に整理してまとめます。 ・消防署で働く人の仕事の工夫や努力を理解します。 ・事故や事件から暮らしを守る警察の働きを知ります。 ・警察署へ見学に行き、警察の仕事調べます。 ・警察で働く人々の工夫や努力について理解します。 ・阪神大震災について調べ、災害時の関係諸機関の緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みを理解します。
	5. 住みよい暮らしをつくる (1) 水はどこから	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が1日に使う水の量を牛乳パックで表して確かめる。市で使われる水の量と人口の変化から、学習問題をつくります。 ・学校やまちにある水道施設・設備を調査し、水の流れをたどります。 ・浄水場について調べ、見学の計画を立てます。 ・浄水場を見学して、きれいで安全な飲料水をつくるしくみを調べます。 ・写真や地図を使って、浄水場まで水がどのように送られてくるのかを調べます。 ・見学したり資料を用いたりして、水源林やダムの様子を調べます。 ・地図帳の使い方を学び、索引を使って武庫川を探す活動を行います。 ・水を有効に利用する取り組みを調べます。 ・これまで学習してきたことをもとに、自分たちには何ができるのか考え、話し合います。
二 学 期	(2) ごみのしゅりと利用	<ul style="list-style-type: none"> ・家や学校から出されているごみの種類や量を調べて、気づいたことや疑問を発表し合い、学習問題をつくります。 ・ごみステーションやごみ収集車を観察し、ごみの収集のしくみや出し方のきまり、収集したごみの行き先など、わかったことをまとめます。 ・清掃工場に行き、見たいことや知りたいことを整理して、見学の計画を立てます。 ・可燃ごみの処理方法を実際に見学して、しくみや工夫について調べます。 ・リサイクル施設を見学したり、リサイクルにかかわる法やきまりについて施設の人に話を聞いたりして、資源ごみがどのように再利用されていくのか調べます。 ・粗大ごみの処理施設の見学をして、粗大ごみの処理・再利用のしくみを調べます。 ・地域の人々の環境を守る取り組みについて調べ、わかったことをまとめます。 ・ごみの処理のしかたがどのように変わってきたかを調べます。 ・これまでの学習を振り返り、住みよい暮らしのために自分たちには何ができるのか考え、意見を発表します。
	6. きょう土を開く	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの言い伝えを調べ、人々がどのような願いや思いをもつてくらしていたか考えます。 ・地域の発展に尽くした先人の事例を調べ、その思いや願いについて考えます。 ・水害との戦いについて調べ、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を考えます。 ・宝塚市がどのように大きくなってきたのか調べ、その理由を話し合います。 ・ニュータウン作りや駅前の再開発の様子を調べます。 <p>※課題を選び、多様な方法で調べ、伝えるとともに、地域社会との積極的な関わりについて考えます。</p>
	7. わたしたちの県 ○兵庫県の位置	<ul style="list-style-type: none"> ・学習経験や生活経験を生かして知っている都道府県を出し合い、47都道府県の位置や名称を白地図に整理します。 ・日本地図、兵庫県の地図や資料をもとに、兵庫県や宝塚市の位置を確かめ、白地図に表します。

三期	○兵庫県の地形と人口や交通 ○兵庫県の産業 ○兵庫県のいろいろな地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地勢図と鳥瞰図を見比べながら、兵庫県の土地の様子を読み取ります。 ・小集団の中で県の地形図、土地利用図、写真を比べて、わかったことを話し合います。 ・兵庫県の気温と降水量のグラフを見て、兵庫県の気候の特色について考えます。 ・県内の主な道路や鉄道、航路、航空路を調べて、白地図にまとめます。 ・昔からつくられているものを持ち寄って紹介し合うとともに、インターネットを使って、県の伝統を生かした工業製品を調べます。 ・兵庫県の伝統工芸品を見たり、つくられ方を調べて、職人の工夫や努力について話し合います。 ・伝統的な産業を生かしたまちづくりの様子や、まちづくりに取り組む人々の思いについて、自分たちの住む市町村と比べながら話し合い、図表や文章にまとめます。 ・兵庫県の地形から見て特色ある地域の様子を調べ、それぞれの地域によるくらしの様子について発表し合います。 ・地域の特色を生かしたまちづくりの様子やまちづくりに取り組む人々の思いについて、自分たちの住む市町村と比べながら話し合い、図表や文章にまとめます。 ・これまで調べたことや人の交流を通じた外国のつながりを調べて、兵庫県の特色をより広い視野でとらえ、話し合います。 ・これまで学習したことにもとづいて、未来の兵庫県の姿について、話し合います。
----	--	---

◇指導の工夫

<学び方や調べ方の学習>

- ・様々な調べ方の例の中から個の興味関心に応じ選んだ方法で調べる学習を繰り返すことで、自主的に調べ学ぶ態度を育てます。

<プレゼンテーション能力の育成>

- ・調べたことを新聞にまとめたり、資料を集め検証したりするなど、自分の考えをまとめ発表する機会を重ねることで、プレゼンテーション能力の育成を図ります。また、発表に関する意見を交流することで、相互の関連などを考える力を育てます。

<基礎・基本となる事項の徹底>

- ・学年ごとに、覚えるべき基礎・基本となる事項をワークシートなどで計画的に学習します。4年生では、①地図の見方(等高線・縮尺・縮尺率について)②県内のおもな市町村名③統計の見方(調査年について)④日本の都道府県名と県庁所在地⑤地形(山地・平野・川)⑥気候について、確実に身につけるようにします。

◇評価観点

- ・人々の安全や健康な生活を守るための諸活動、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き、県の様子(以下、人々の健康な生活を守るための諸活動等)、及び日本の国土の様子について興味・関心を持ち、意欲的に調べているか。
- ・人々の安全や健康な生活を守るための諸活動等、及び日本の国土の様子について学習の問題をみつけ追究し、それぞれの特色について考え、考えたことを工夫して表現しているか。
- ・人々の安全や健康な生活を守るための諸活動等、及び日本の国土の様子を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用しているか。
- ・人々の安全や健康な生活を守るための諸活動等、及び日本の国土の様子について理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい社会3・4上』『新しい社会3・4下』(東京書籍) 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』(帝国書院) 副読本『わたしたちのまち宝塚』等

◇保護者の皆様へ

- ・4年生の社会科では、3年生同様、個人やグループでの観察や調査、見学などの具体的な活動やそれに基づく表現活動を多く取り入れ、繰り返し発表体験を積むことで調べ考え発表する基礎を養います。また、身近な地域の学習から、県、国と学習範囲を広げ、社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てます。
- ・4年生では、地域社会に関する内容のうち、地域の人々の安全・健康を守る活動についてや、地域の歴史について学習します。ご家庭でも、ごみの分別回収や資源回収の日にゴミステーションへ行ったり、リサイクルマーク商品を探したりなどすることは、日常生活を見直すきっかけとなることでしょう。学習を機に、すみよいまちづくりのために、子ども達も地域社会の一員としての自覚をもって行動できればと願っています。震災や空襲などについても、お話をくださるとありがたいです。
- ・4年生では、学校のある宝塚の学習から、県(府)、国へと学習範囲が広がっていきます。ご家庭でも、県の伝統工芸品にふれたり、特色ある地域への旅をしたり、県庁所在地を調べたりなど、お子さんの興味関心を広げることにご協力ください。

関西学院初等部 5年 社会科 シラバス〔保護者用〕

◇ 5年社会科の目標

- ・我が国の国土や産業に関心を持ち、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、主体的に繰り返し追究する。
- ・我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。
- ・国土に対する愛情を育てるとともに、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

◇ 5年社会科の学習計画

	単元名	単元の概要
一学期	1. わたしたちの国土 (1) 世界の中の国土 (2) 国土の地形の特色と人々の暮らし (3) 国土の気候の特色と人々の暮らし 2. わたしたちの生活と食料生産 (1) 米づくりのさかんな庄内平野 ◎期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・学習経験や生活経験のなかで知っている国や、世界の主な大陸や海洋、国について、地図帳や地球儀で調べます。また、我が国の領土と近隣諸国の名称と位置を調べ、白地図に書き表します。 ・国土のおもな山地・山脈、平野、河川の位置と名称を地図帳や日本の立体地形図で調べて白地図に表したり、日本と外国のおもな川の長さや流れ方について比べたりします。 ・国土の気候の特色について、資料をもとに調べ、白地図にまとめます。 ・暑さや台風など、気候の特色に合わせた沖縄県の家のくふう、さとうきびづくりや電照菊の栽培、沖縄県の文化や自然がどのようにして守られているのか調べます。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地の6月の水田の様子の写真から、各地の米づくりの様子や地域による違いを調べます。 ・庄内平野で米づくりがさかんなわけを、写真や地図、資料などをもとに調べたり、庄内平野の農家に手紙を出したりインターネットや資料を活用したりして、米づくりの仕事について調べ、農事暦にまとめたり、米づくりにかかわる行事や文化について調べます。 ・農業協同組合や農業生産技術試験場などの役割や、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きや、生産や輸送にかかる費用と米の価格の関係について調べます。 ・日本の米づくりが抱える課題について話し合います。
二学期	(2) 水産業のさかんな静岡県 (3) これからの食料生産とわたしたち 3. わたしたちの生活と工業生産 (1) 自動車をつくる工業 (2) 工業生産と工業地域 (3) 工業生産と貿易 ◎期末テスト 4. 情報化した社会とわたしたちの生活 (1) 情報産業とわたしたちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・かつお漁について、かつおの回遊範囲や漁の仕方のちがいが、一本釣りと巻網漁の違いなどについて写真や図をもとに話し合い、かつお漁の工夫についてノートにまとめて発表し合います。 ・生産量や働く人、輸入量の変化をグラフから読み取り、わかったことや考えたことを話し合います。 ・養殖業、栽培漁業について調べます。 ・生産地と消費地を結ぶ運輸の働きの大切さや、魚にかかわる費用と価格の関係、海や魚を守るための取り組みを調べ、水産業を守るための開発の大切さについて話し合います。 ・食料生産を持続発展させるための様々な取り組みに関する資料を見て、それらの意義や大切さを考え食料生産が環境にどのような役割を果たしているのかを調べ、食料生産と環境保全の関係や環境保全の大切さについて、考えを出し合います。 ・自動車工場を見学したり、働く人々から調査したりして、生産の過程における工夫や努力について調べ、わかったことをまとめます。 ・自動車は、化石燃料を使うこと、排出ガスが大気汚染や地球温暖化の一因となっていること、また、使われなくなった自動車から出る大量のごみなど、環境に悪影響を及ぼしてきたことを知り、その対策を様々な資料を収集・活用して調べ、これからの工業生産に大切なことを話し合います。 ・安全についての対策や消費者のニーズに合った製品の研究開発、自動車工場の生産のしくみや技術開発の取組、運輸の働きなどについて調べます。 ・工業地域や工業地帯の意味を調べ、中京工業地帯の広がりについてまとめます。 ・我が国の工業地帯や主な工業地域の位置、工業生産額、工業の種類を調べ、発表します。 ・今までの学習を振り返り、我が国全体の工業の特色についてまとめます。 ・我が国全体の工業生産における貿易の特色、我が国の主な輸入品や輸入相手国、主な輸入品の取り扱額の変化、我が国の工業生産における輸入品の変化、我が国の主な輸出品や輸出相手国などについて調べ、まとめて発表します。 <ul style="list-style-type: none"> ・一日の中でテレビ放送からどんな情報を得ているか、テレビから得た情報をどう活用しているかを話し合い、学習問題を設定します。 ・テレビ局のホームページを調べ、ニュース番組づくりにかかわる人々のインタビューを読みます。 ・メディアで流される情報がどのようにわたしたちの生活に影響があるか調べ、発表し合います。 ・テレビというメディアを通して情報を発信する側と受け取る側のそれぞれが気をつけることを、学習したことをもとに考えまとめます。
三学期	(2) 社会を変える情報	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中には、情報ネットワークによる多くの情報があることを知り、その情報をどのようにわたしたちが活用しているのか話し合い、学習問題を設定します。

三 学 期	(3) 情報を生かすわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中に溢れている情報についてコマーシャルを例に発表し合います。 わたしたちは、情報を受け取る側だけでなく発信する側にもなることに気づき、どのようなことに気をつけたらよいか考え発表し合います。
	5. わたしたちの生活と環境 (1) わたしたちの生活と森林	<ul style="list-style-type: none"> 国有林の中で、林業で生活している人々の仕事の様子を調べ、人工林を理解するとともに、林業の問題点についてまとめます。また、山地の中で生活している人々の、山地とくらしのかかわりを調べます。 森林の働きやその大切さについて話し合い、様々な角度からまとめるとともに、日本では昔から木との関わりが深いことから、森林と生活とのつながりについてもまとめます。
	(2) 環境を守るわたしたち ◎学年末テスト (3) 自然災害を防ぐ	<ul style="list-style-type: none"> 京都市には豊かな水資源があること、鴨川が汚れていた時期があったことから、鴨川の様子の変化を知り、調べてみたいことを話し合い、学習問題を設定します。 鴨川の汚染の原因やきれいな川にするための市民や自治体の努力について話し合います。 自然災害から人々を守るための国の取り組みを調べ、わかったことを発表し合います。 地方公共団体の取り組みや、住民の協力、日頃の備えが大切であることを話し合います。 自然災害の被害を減らすために、自分たちにできることを考え、話し合います。

◇指導の工夫

<個に応じた指導>

- 個人や小グループによる調べ学習を多く取り入れ、個の興味関心に応じた指導の充実を図ります。

<実体験に基づく学習指導>

- 施設の見学をしたり、インタビューをしたりなど、自分の目で見て感じ、考える機会をできるだけ多く取り入れることにより、社会的事象に関する理解を深めます。

<プレゼンテーション能力の育成>

- 調べたことを新聞にまとめたり、資料を集め検証したりするなど、自分の考えをまとめ発表する機会を重ねることで、プレゼンテーション能力の育成を図ります。また、発表に関する意見を交流することで、より広い視野に立ち物事を考え判断する力を養うとともに、社会的事象の意味について考える力を育てます。

<情報活用能力の育成>

- 実体験が難しい社会的事象については、HPや図書を利用して調査し、地図、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用する機会を多くもつようにします。その際、情報を活用する上でモラルを守って活用する意識を養います。

<基礎・基本となる事項の徹底>

- 5年生では、①土地利用図の読み取り②写真・主題図・グラフの読み取り③工業地帯、工業地域④原料の輸入先、日本の主な貿易相手国⑤緯度と経度⑥公害(四大公害病)について確実に身につけます。また、4年生で学習した、日本の都道府県名、県庁所在地、地形(山地・平野・川) 気候についても随時復習します。

<行事や他教科とのリンク>

- 家庭科や国語、理科ともリンクして、社会的事象の意味を社会生活の様々な場面で多面的にとらえ、公正に判断できるように導きます。

◇評価観点

- 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象に興味をもち、それを意欲的に調べ、国土の環境の保全と自然災害の防止の重要性、産業の発展や社会の情報化の進展に関心を深めるとともに国土に対する愛情をもとうとしているか。
- 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象から学習問題を見いだして追究し、社会的事象の意味について思考・判断したことを適切に表現しているか。
- 我が国の国土と産業の様子に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしているか。
- 我が国の国土と産業の様子、国土の環境や産業と国民生活との関連について理解しているか。

◇使用するテキスト類

- 検定教科書『新しい社会5上』『新しい社会5下』(東京書籍) 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』(帝国書院) 資料集等

◇保護者の皆様へ

- 第5学年の社会科は、中学年での地域学習を踏まえ、学習対象を日本全体に広げて学習を進めていきます。日常生活の中で見たり聞いたりするニュースとの関連もあります。ご家庭でも、新聞やニュースに対する関心が深まるように言葉がけをお願いします。
- 第5学年の社会科では、主として、日本の食料生産、工業生産、情報産業、国土と環境の四つについて学びます。どれも、子ども自らが学習課題を設定し、予想を立て調べていきます。そして、調べたことからわかったことをまとめ発表していきます。見学やインタビューなどの直接的な調べ方に加え、インターネットや書籍の活用など間接的な調べ方が大切になります。まとめ方としては、レポート、新聞、パンフレットなどを、発表の仕方としては、討論、スピーチ、ポスターセッションなどの多様な方法を取り入れます。

関西学院初等部 6年 社会科 シラバス〔保護者用〕

◇6年社会科の目標

- ・我が国の歴史や政治に関心を持ち、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、こだわりをもって主体的に追究する。
- ・先人の業績や優れた文化遺産、政治の働き、我が国と関係の深い国の生活、国際社会における我が国の役割を理解し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。
- ・我が国の歴史や伝統を大切にすることとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。

◇6年社会科の学習計画

	単元名	目標・主な活動
一 学 期	1. 日本の歴史 (1) 縄文のむらから古墳のくにへ (2) 天皇中心の国づくり (3) 武士の世の中へ (4) 今に伝わる室町文化 ◎期末テスト (5) 戦国の世から江戸の世へ	<ul style="list-style-type: none"> ・三内丸山遺跡、板付遺跡、吉野ヶ里遺跡、大仙古墳について調べます。 ・米づくりの広がりによって、むらの様子がどのように変わっていったのかを調べます。 ・大陸からやってきた人々が、どのような文化をもたらし、日本にどのような影響を与えたのかを調べます。 ・米づくりによる世の中の変化や大和朝廷による国土の統一についてわかったことや考えたことをノートにまとめます。 ・法隆寺建造を支えた高い技術から、聖徳太子の業績や考えについて調べます。 ・大化の改新や平城京、聖武天皇が国分寺や大仏をつくらせた理由などについて考え、話し合います。 ・遣唐使、留学生、渡来人の働きについて調べ、聖武天皇が大陸との交流を進めた理由を話し合います。 ・藤原道長がどのような人物だったのか、また、平安京の貴族のくらしについて調べます。 ・貴族が栄えたころの文化について調べ、その特色を話し合います。 ・武士の生活の様子、武士と貴族のちがいなどについて、気づいたことを話し合います。 ・平清盛を中心とした平氏の活動、平氏による武士の政治の始まりについて調べます。 ・源平合戦の様子や頼朝が鎌倉に幕府を開くまでの経過について調べます。 ・ご恩と奉公の関係図などをもとに鎌倉幕府の特色について調べ、わかったことや考えたことを話し合います。 ・元との戦いや鎌倉幕府の衰退について調べ、わかったことや考えたことを話し合います。 ・書院造と現在の和室との関連や書院造を飾る生け花、茶の湯、庭園について調べ、気づいたことを話し合います。 ・雪舟とすみ絵など、室町時代に生まれた文化について、ほかのどのようなものがあるか調べます。 ・全国統一を目指して、織田信長、豊臣秀吉、徳永家康がどのようなことをしたのかを調べます。 ・江戸幕府が、大名を支配していった過程、百姓や町人を支配していった過程、キリスト教を禁止していった過程、鎖国との海外との交流がどのように行われていたのかなどを調べます。
二 学 期	(6) 江戸の文化と新しい学問 (7) 明治の国づくりを進めた人々 (8) 世界に歩み出した日本 (9) 長く続いた戦争と人々のくらし ◎期末テスト (10) 新しい日本、平和な日本へ	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸のまちの様子や人々のくらしを描いた絵図を見て、当時の文化について調べます。 ・歌舞伎や浮世絵の広まり、新しい学問がおこった様子や社会に与えた影響について調べます。 ・百姓一揆や打ちこわしなどから、社会の変化や幕府の行き詰まりについて調べます。 ・明治維新、文明開化、自由民権運動、憲法草案、議会と選挙制度について調べます。 ・日本の産業の発展について調べます。 ・日本が中国やロシアと戦った理由や、2つの戦争の様子や結果について調べます。 ・日本が朝鮮を植民地にして、朝鮮の人々をどのように支配したのかを調べます。 ・原爆ドームが世界文化遺産になった理由を話し合い、長く続いた戦争や当時の人々の生活について調べます。 ・満州事変、日中戦争、沖繩戦などについて調べ、戦争へ行った人々やその家族の様子、日本が占領した地域の人々に行ったこと、戦時体制となった生活の様子、空襲の被害について調べます。 ・戦争が終わった後の社会の変化について調べます。 ・戦後に行われた改革や日本国憲法について調べます。 ・日本が国際社会の復帰を果たす前後の世界の動きや日本の様子について調べます。 ・現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ、わかったことや考えたことを話し合います。

三 学 期	<p>2.わたしたちの生活と政治</p> <p>(1)わたしたちの願いを実現する政治</p> <p>(2)わたしたちのくらしと日本国憲法</p> <p>3.世界の中の日本</p> <p>(1)日本とつながりの深い国々</p> <p>◎期末テスト</p> <p>(2)世界の未来と日本の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市立手塚治虫記念館がどのような願いで作られたのか、施設の工夫、経営方法、施設を利用する人の思いや願いがどのように生かされているのかなどを調べ、まとめて発表します。 ・市役所や市議会の働きについて調べます。 ・国会、内閣、裁判所や選挙に関する資料を収集して調べ、国会、内閣、裁判所の仕組みや働き、選挙の役割について、わかったことや考えたことを話し合います。 ・人権や福祉に関する具体的な施策に目を向け、日本国憲法の働きに関心をもち、憲法が定める国民の権利と義務、国民主権、平和主義について、わかったことや考えたことを話し合います。 ・我が国と関係の深い国の生活や文化と我が国のそれらとの相互理解を図ることが大切であることや、我が国は経済や文化の交流などで世界の国々と深いつながりをもっていることについて調べまとめます。 ・「アフリカ開発会議」などにかかわって、世界で活躍している日本人々について話し合い、世界の平和と発展のために果たすべき日本の役割について調べる。 ・青年海外協力隊、NGOで活躍している人たちの願いや活動について調べ、わかったことや考えたことを話し合います。 ・国際連合、ユニセフの組織や働きについて調べ、わかったことや考えたことを話し合います。 ・戦争や紛争による難民の増加、国際的なテロ、飢餓などの諸問題と平和について調べます。 ・地球温暖化、砂漠化、水や大気の汚れといった地球環境について調べます。 ・政治や経済、文化やスポーツなど、世界の国々と日本との交流について調べます。 ・世界の人たちと手をつなぎ、これからの平和な世界の実現に向けて、どのような努力が必要なのかを考え、話し合います。
-------------	--	--

◇指導の工夫

<個に応じた指導>

- ・個人や小グループによる調べ学習を多く取り入れ、個の興味関心に応じた指導の充実を図ります。

<実体験に基づく学習指導>

- ・施設の見学をしたり、インタビューをしたりなど、自分の目で見て感じ、考える機会をできるだけ多く取り入れることにより、社会的事象に関する理解を深めます。

<プレゼンテーション能力の育成>

- ・調べたことを新聞にまとめたり、資料を集め検証したりするなど、自分の考えをまとめ発表する機会を重ねることで、プレゼンテーション能力の育成を図ります。また、発表に関する意見を交流することで、より広い視野に立ち物事を考え判断する力を養うとともに、社会的事象の意味について考える力を育てます。

<情報活用能力の育成>

- ・実体験が難しい社会的事象については、HPや図書を利用して調査し、地図、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用する機会を多くもつようにします。その際、情報を活用する上でモラルを守って活用する意識を養います。

<基礎・基本となる事項の徹底>

- ・6年生では、主な歴史上の出来事・人物と時代、政治についての基本的な用語について確実に身につけるようにします。

◇評価観点

- ・我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心をもち、それを意欲的に調べ、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚をもとうとしているか。
- ・我が国の歴史と政治及び国際関係から学習問題を見いだして追究し、社会的事象の意味についてより広い視野から思考・判断したことを適切に表現しているか。
- ・我が国の歴史と政治及び国際関係を的確に調査したり、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしているか。
- ・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方や我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解しているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい社会6上』『新しい社会6下』（東京書籍） 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（帝国書院）
資料集 資料『あたらしい憲法のはなし』（童話屋）等

◇保護者の皆様へ

- ・第6学年の社会科は、日本の歴史や政治について学ぶとともに、国際社会における日本の役割について学習を進めていきます。ご家庭でも、新聞やニュースに対する関心が深まるように言葉がけをお願いします。
- ・第6学年の社会科では、どの単元においても、子ども自らが学習課題を設定し、予想を立て調べていきます。そして、調べたことからわかったことをまとめ発表していきます。見学やインタビューなどの直接的な調べ方に加え、インターネットや書籍の活用など間接的な調べ方が大切になります。まとめ方としては、レポート、新聞、パンフレットなどを、発表の仕方としては、討論、スピーチ、ポスターセッションなどの多様な方法を取り入れます。